

多古町社協だより

令和7年(2025)

第143号

発行 令和7年10月1日



夏のにこにこサロン 染井地区の皆さんと一緒に (詳細は4ページ)

主な内容

- 2ページ 赤い羽根共同募金
歳末たすけあい募金
- 3ページ カメラルポふくし
- 4ページ お知らせ

編集・発行

社会福祉法人 多古町社会福祉協議会

多古町多古777番地1 電話 76-5940

社協ホームページ

<https://www.takoshakyo.jp/>



社協X (旧Twitter)

<https://x.com/takoshakyo>



社協Facebook

<https://www.facebook.com/takoshakyo>



赤い羽根共同募金



ご協力をお願いします(運動期間:10月1日～翌3月末)

「じぶんの町を良くするしくみ。」

共同募金運動は、戦後間もない昭和22(1947)年に、「国民たすけあい運動」として始まりました。

当初は戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、共同募金は誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として取り組まれています。

今年も多古町支会では、目標額2,180,000円を設定し、「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」をキャッチコピーに募金運動を行います。皆様のご協力をお願いいたします。

共同募金とは? (中央共同募金会ホームページより)

共同募金は、地域の福祉団体等からの助成の申請を基に助成計画を立案し、その計画に基づき、助成事業に必要とされる目標額を毎年定めています。つまり、地域ごとに課題解決に必要な使いみちの額を事前に定めてから、寄付を募る「計画募金」です。

募金による助成には、市区町村での活動を応援する地域助成と、市区町村を越えた広域での活動や先駆的な活動を応援する広域助成があります。全国的な統計では、地域助成と広域助成の一部を合わせて、集まった募金の約7割が募金をいただいた地域で使われています。残りの3割は市区町村を越えた広域での活動や災害時の備えのためなど使われています。

歳末たすけあい募金にご協力を! (運動期間:12月中)

「歳末たすけあい募金」は、共同募金の一環として地域住民やボランティア、また関係する機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことのできるよう、住民参加や理解を得て様々な福祉活動を重点的に展開するものです。

これまでは、生活困窮世帯への歳末見舞金として使われてきましたが、現在は住み慣れた地域で暮らしていくために必要な様々な支えあい活動に展開されるようになり、それらの活動への募金配分が行われるようになっていきます。

多古町では区長さんや民生委員さんの協力のもと展開いたします。ご協力をお願いいたします。



今年もいきいきフェスタ会場内で募金運動を行います。ご協力をお願いいたします。

(写真は昨年度の様子)

詳しくは各ホームページをご覧ください。



中央共同募金会



はねっと



地区の出来事・

ボランティア活動を

紹介するコーナーです。



なのはなシニア千葉特選演芸会 多古町老連芸能発表会

7月10日（木）、多古町コミュニティプラザ文化ホールにて、多古町老人クラブ連合会主催の第59回特選演芸会・芸能発表会が開かれました。

中村二郎会長による開会のあいさつからはじまり、文化ホール内は朝から夕方まで盛り上がりを見せました。



町老連 中村二郎会長

特選演芸会では、石黒サンペイ・ヨンペイのお笑いパフォーマンスや山本謙司の津軽民謡などが披露されました。またたくさんの景品が用意された抽選会も行われ、とても活気の溢れた特選演芸会となりました。

午後の芸能発表会では、14名の老人クラブ会員がステージにて歌を披露しました。飛び入りで中村会長も参加！素晴らしい歌声を文化ホールに響かせ、たくさんの参加者を魅了していました。



石黒サンペイ・ヨンペイの皿回し

各地区社協視察研修

◆多古第三地区では、6月26日（木）に、横浜軍港・コースカベイサイドストアーズを視察。海上自衛隊の潜水艦や、米海軍のイーグリス艦などを見ながらのクルージングガイドを受け、久里浜港から金谷港までバスごと乗り込み東京湾を渡るという貴重な体験を味わいました。敬老会に向けて親睦を深めた一日となりました。



横須賀港にて

◆久賀地区では、7月18日（金）に、サントリー〈天然水のビール工場〉武蔵野を視察。普段は見られない製造工程や、作り手の熱い思いなどを教えていただきました。午後は深大寺に参拝、ボランティアガイドに案内されながら、10月に行われる敬老会の成功を祈りました。



製造工程の説明を受ける参加者

中地区健康講演会 「認知症サポーター養成講座」

中地区社会福祉協議会（並木高明会長）では、毎年「健康」をテーマに講演会を開催しています。

本年度は、7月24日（木）に中村小学校体育館にて、多古町地域包括支援センターの大嶋宏美保健師と加瀬雄介社会福祉士より講演を頂きました。

講師・スタッフの寸劇による演習や、丁寧な説明で、認知症の方との接し方やトラブル回避法などをわかりやすく教えていただきました。



高齢者に扮し認知症の
デモンストレーションをしている様子



敬老会の開催日程について

各地区社会福祉協議会では、毎年敬老会行事を行っています。
町内在住の70歳以上の高齢者を対象に招待しています。

- 久賀地区 10月 7日(火) 9時30分 久賀小学校体育館
- 多古・常磐・中地区 10月19日(日) 9時30分 コミュニティプラザ文化ホール

おいしいカレーをみんなで

8月8日(金)、保健福祉センターにてNPO観光・交流・助け合いネット、タコ足ケアシステムによる夏のにこにこサロンが行われました。

地域のお子さんから高齢者まで80人を超える参加者が訪れ、楽しくカレーをほおばっていました。また、ボランティアグループ「たこばん」によるサプライズライブも開催。オリジナルソングや『北国の春』を参加者と熱唱しました。

参加されていた地域の方は、「こんなに大勢で食べると特別においしい」とコメント。子供たちもおいしかったと大好評でした。



カレーを食べながら談笑する参加者



別室ではベイブレード大会も開催！

訪問介護ヘルパー募集

- 時給：1,400円～1,840円(処遇改善など加算含む)
- 時間：8:30～17:15 シフト制(要相談)
- 年齢：60歳まで
- 資格：初任者研修(ヘルパー2級)以上、介護福祉士、普通運転免許



善意のご寄付

(令和7年7月～8月/敬称略)

『福祉活動に役立ててください』と、次の方々から寄付金品などをいただきました。ありがとうございます。

- ・宇井 英子 10,000円
- ・匿名 10,000円
- ・匿名 10,000円
- ・JAかとり女性部多古支部 食品等



- ・成田空港警備株式会社 食品等

